

クラブ対抗競技注意事項

1. 2015年 日本陸上競技連盟の規則により競技を行う。

2. 招集について

○ 招集時間

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
走高跳・走幅跳	40分前	30分前
ボール投	30分前	20分前

○ 場所 バックスタンドの第3コーナー出入り口付近の雨天練習場に設ける。

○ その他 招集に遅れた者は、出場を認めない。

○ 招集時間と競技時間が重なる場合は、事前に招集所へ申し出ること。

3. トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

4. スタートは日本語で行い、フライングは同じ者が2回で失格とする。

5. 800m予選はオープンスタートとする。決勝はセパレートスタートになるので、選手にブレイクラインを周知しておくこと

6. リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所に提出のこと。

(決勝時においては変更ある場合のみ提出し)、その上所定の時間に招集を受けること

7. 跳躍競技のバーの上げ方

練習 開始

<走高跳> 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 1.35 ・

1位決定のためのバーの上下2cm

8. フィールド計測ライン 1回目の結果から決定し、2回目以降選手に通告する。

ボール投の助走は15m以内とする。

9. スパイクのピンは、全天候性走路のため9mm以下(走高跳は12mm以下)のピンを使用のこと。

10. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

11. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

○ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。

○内側の1レーンは、長距離のペース走専用とする。

○内側の2～3レーンは、流し等の専用とする。

○直走路4～7レーンはスタートダッシュ専用とする

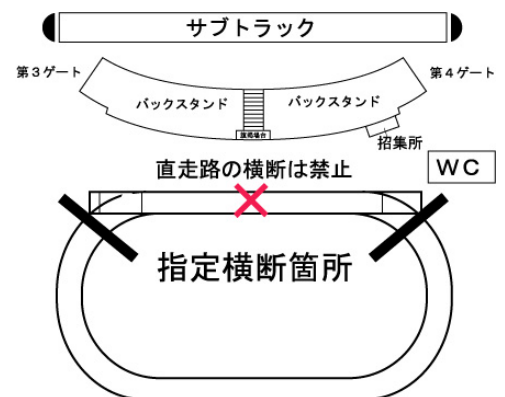
○外側の8レーンはハードル専用とする。

○フィールド競技の練習は禁止する。

(招集完了後、主競技場で行う)

○走路及びピットに立ち止まっの指導等をしてはいけない。

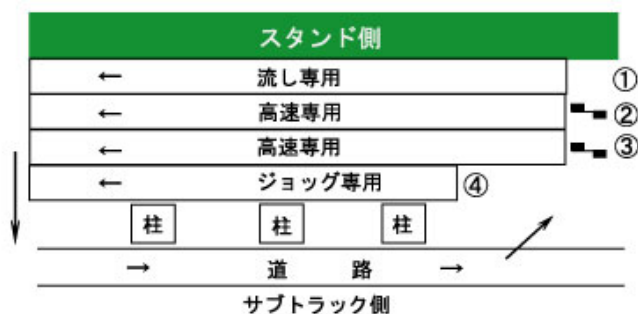
○走路は左回りとし、逆走は禁止する。



- 走路を横切るときは、下記指定場所より選手の妨害にならないように気をつけ、速やかに渡る。
- その他審判員の指示に従う。

12. 雨天練習場については次のことを厳守する。

- 下図を参照のこと。
- 走路の横断は禁止する。スタンド及び補助競技場への移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第2ゲート付近から横断をする。
- スターティングブロックの設置を禁止する。
- オールウェザー部分をチームのベンチにすることを禁止する。



13. その他

- 競技場、観覧席とも汚さないように気をつける。
- 8位まで表彰を行うので、競技終了後表彰控席に集合のこと。
リレー等で兼ねている場合は、責任者が代理を出すこと。
全競技終了後、対抗の部の表彰を行うので、選手はフィールドに集合のこと。
- 競技場、競技場周辺の住民にも、迷惑をかけないようにゴミ等は、各自家まで持ち帰ること。
- 更衣室は、衣服の更衣のみに使用し、団体のベンチとして使用しない。
- 持ち物の管理は各自で責任を持つ。
- 選手は、ゴール後本部前を通らず、メインスタンド内中央通路を通り退場のこと。
- 主競技場周辺及び補助競技場における投てき練習は禁止する。
- 防水塗装保護のため、2階通路上へベンチを設置する場合、ブロック（石等も含む）、粘着テープ等の使用を厳禁する。また、メインスタンド記録掲示板前へのベンチ設置を禁止する。
- スパイク等でスタンドを歩かないこと。
- タープ等、簡易テントの使用は、バックスタンド及びコーナー部分の芝生のみとする
- 三重県ジュニアオリンピックの100mとジャベリックスロー競技を同時開催とする。